

学校教育目標	・自ら考えともに学び、積極的に行動する生徒 ・互いの人格を尊重し、思いやりのある生徒 ・心身ともに健康な生徒	【目指す学校像】	生徒が「①進歩や成長を実感、②自己実現を図る、③夢や希望を実現する、④安心・安全に生活できる」場
		【目指す児童・生徒像】	①意欲的、主体的に取り組む、②あいさつができ、思いやりがある、③自らの力で進路を切り拓く、④心身ともに健康である
		【目指す教師像】	①生徒一人一人を大切に、②高い指導力をもつ、③信頼される、④組織の一員として職務にあたる、⑤昭和を愛する

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学びに向かう力と人間性等を養う。	目標の明示と振り返りの活用から指導と評価の一体化による学力の定着させる。 思考力・判断力・表現力の育成を図り、自分の考えを他者に伝える力を育む。 主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着	学習目標の提示し振り返りを工夫することで、学習理解を深める。 書くこと、発表することやICTの活用により、表現力を意識した授業の実践する。 シラバスの活用と各教科での学習課題の明確な提示と評価	4 毎時間目標を明示し、振り返りを工夫した。	4	4 「授業をよく理解できた」と答える生徒が90%以上					
				3 8割以上の授業で目標を明示し、振り返りを工夫した。	3	3 「授業をよく理解できた」と答える生徒が70%以上					
				2 5割以上の授業で目標を明示し、振り返りを工夫した。	2	2 「授業をよく理解できた」と答える生徒が50%以上					
				1 目標を明示し、振り返りを工夫した授業は5割未満	1	1 「授業をよく理解できた」と答える生徒が50%未満					
				4 9割以上の授業で表現力指導を徹底した。	4	4 「表現力がついた」と答える生徒が90%以上					
				3 8割以上の授業で表現力指導を徹底した。	3	3 「表現力がついた」と答える生徒が70%以上					
				2 5割以上の授業で表現力指導を徹底した。	2	2 「表現力がついた」と答える生徒が50%以上					
				1 表現力指導を徹底した授業は5割未満	1	1 「表現力がついた」と答える生徒が50%未満					
				4 学習習慣定着のための指導を確実に実施した。	4	4 家庭学習の時間が「4時間以上」が最も多い					
				3 学習習慣定着のための指導を概ね実施した。	3	3 家庭学習の時間が「4時間未満」が最も多い					
2 学習習慣定着のための指導を時々実施した。	2	2 家庭学習の時間が「3時間未満」が最も多い									
1 学習習慣定着のための指導をほとんどできなかった。	1	1 家庭学習の時間が「2時間未満」が最も多い									
豊かな心	全教育活動を通じて、全教育活動を通じて、人権教育・心の教育を推進し、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる豊かな人間性を育む。	全教育活動を通じて生徒の努力を認め、自己有用感を育み自尊心を高める。 考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きるための基盤となる豊かな人間性を育む。 いじめ問題への適切な対応と自立支援を基盤とした個に応じた不登校対策の充実	傾聴・共感して認め、助言し実行させて褒める指導を徹底する。 ①内容項目を理解し、議論や発問の工夫を行う。 ②全教科で内容項目に関連付けて指導する。 毎月の生徒理解調査の実施、学校と関係機関との連携、校内委員会の実施	4 認め、褒める指導の実践が定着した。	4	4 教員は良さを認め伸ばしてくれと感じる生徒が80%以上					
				3 傾聴、共感、認めるから助言につなげた。	3	3 教員は良さを認め伸ばしてくれと感じる生徒が60%以上					
				2 傾聴、共感をして、認める努力をした。	2	2 教員は良さを認め伸ばしてくれと感じる生徒が40%以上					
				1 傾聴せずに、すぐ指導・説教をする。	1	1 教員は良さを認め伸ばしてくれと感じる生徒が40%未満					
				4 様々な場面で内容項目を価値付けて指導した。	4	4 道徳の授業で自分の考えを深められた生徒が80%以上					
				3 発問を工夫することで内容項目を深められた。	3	3 道徳の授業で自分の考えを深められた生徒が60%以上					
				2 教材研究で内容項目を理解した十分深められなかった。	2	2 道徳の授業で自分の考えを深められた生徒が40%以上					
				1 教材研究で内容項目の理解が不十分だった。	1	1 道徳の授業で自分の考えを深められた生徒が40%未満					
				4 いじめ問題にすぐに対応し、早期解決を図った。	4	4 落ち着いて安心して学校生活ができる生徒が90%以上					
				3 いじめ問題にすぐに対応したが、対応は継続している。	3	3 落ち着いて安心して学校生活ができる生徒が80%以上					
2 いじめ問題の対応が遅れたが、解決できた。	2	2 落ち着いて安心して学校生活ができる生徒が70%以上									
1 いじめ問題の対応が遅れ、解決できていない。	1	1 落ち着いて安心して学校生活ができる生徒が70%未満									
健やかな体	心身共にたくましく、健やかな生徒の育成を図り、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。	体力向上と生涯にわたってスポーツに親しむ態度の育成 安全指導の計画的な実施。自殺予防教育・がん教育・薬物乱用防止教育の実施。 SNSの活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	体力向上の個人目標を設定する。保体授業TTや男女共習授業と部活動を充実する。 SNS学校ルールの定着及び家庭ルールの作成・定着を徹底する。	4 生徒の目標達成のために積極的に支援した。	4	4 体力テストで全学年が都標準以上					
				3 生徒の目標達成のために支援した。	3	3 体力テストで2つの学年が都標準以上					
				2 生徒の目標を理解し助言した。	2	2 体力テストで1つの学年が都標準以上					
				1 生徒の目標を十分に把握できなかった。	1	1 体力テストで全学年が都標準未満					
				4 命の大切さと安全・安心な学校生活を指導・徹底している。	4	4 命の大切さを理解し、自助・公助の精神が身に付いた。					
				3 命の大切さと安全・安心な学校生活を指導している。	3	3 命の大切さを理解し、自助・公助の大切さを理解した。					
				2 命の大切さと安全・安心な学校生活を心がけている。	2	2 命の大切さを理解し、自助を心がけている。					
				1 命の大切さと安全・安心な学校生活を指導できていない。	1	1 命の大切さを理解し、自助について理解した。					
				4 SNSルールの徹底を家庭に指導した。	4	4 SNSルールが定着した生徒が80%以上					
				3 SNSルールを学級で指導・徹底した。	3	3 SNSルールが定着した生徒が50%以上					
2 SNS家庭ルールの作成を家庭に指導した。	2	2 SNSルールを意識している生徒が50%以上									
1 SNS学校ルールを学級で指導した。	1	1 SNSルールを意識している生徒が50%未満									
輝く未来	学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。	年間を通じた計画的な教育相談の実施と教師によるカウンセリングの充実 キャリア教育の計画的な推進と夢の実現に向けて努力する生徒の育成 生徒理解に基づいた個への配慮が必要な生徒への支援の充実	面談指導の計画的な実施、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけ 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進、キャリアアルバムの活用 特別な支援を要する生徒への適切な対応、保護者との連携と合理的配慮の推進	4 定期面談・随時面談・QUのすべてを活用、実施した。	4	4 先生に相談すると安心できる生徒が80%以上					
				3 定期面談・随時面談を実施した。	3	3 先生に相談すると安心できる生徒が60%以上					
				2 定期面談のみ実施した。	2	2 先生に相談すると安心できる生徒が40%以上					
				1 定期面談・随時面談・QUのいずれも活用、実施できなかった。	1	1 先生に相談すると安心できる生徒が40%未満					
				4 キャリア教育を通して夢を実現する計画づくり指導した。	4	4 将来の夢に向けて具体的に計画を作成した。					
				3 計画的キャリア教育で将来の自分を考えさせた。	3	3 将来の夢について考え、目標を持つことができた。					
				2 キャリア教育を通して自己の良さや適性を考えさせた。	2	2 将来の夢を自分で考えることができた。					
				1 キャリア教育を通して働くことの大切さを考えさせた。	1	1 将来のことをほとんど考えることができなかった。					
				4 日常的な特別支援教育の啓発と推進を実践した。	4	4 先生は一人一人のことを考えてくれると感じる生徒が80%以上					
				3 日常的な特別支援教育を理解し実践した。	3	3 先生は一人一人のことを考えてくれると感じる生徒が60%以上					
2 日常的な特別支援教育を理解した。	2	2 先生は一人一人のことを考えてくれると感じる生徒が40%以上									
1 日常的な特別支援教育の理解が不十分だった。	1	1 先生は一人一人のことを考えてくれると感じる生徒が40%未満									